

章	5	身近な環境に配慮した、地球にやさしいまち
大項目	01	環境への負荷の少ない社会システムの構築
施策	01	環境への負荷の低減

目的

区内の大気汚染、騒音・振動、悪臭の状況を把握するとともに、公害の発生源に対する規制・指導を充実し、汚染物質の排出低減を図ります。

対象・手段

本庁、四谷の2測定局で大気質等の常時測定、区内4交差点での大気汚染測定 神田川及び妙正寺川の水質調査 酸性雨調査 ダイオキシン類調査 自動車騒音・道路交通振動の測定・評価(1.要請限度に関する測定 2.環境基準に関する測定) 繁華街の騒音対策 工場・事業所等の臭気・燃料調査 アスベスト除去・建設作業の監視 有害化学物質の対策

施策の方向

大気汚染、土壌汚染、騒音、振動、悪臭の状況を監視し、大きな発生源に対しての対策を進めることで、区民の健康を保護し、生活環境を保全していきます。

成果指標

指標名		定義			目標水準	
公害の苦情処理に係る相談者の満足度		年間の苦情処理件数のうち、区の処理に対して「満足」又は「一応満足」と感じた件数の割合。			(平成24年度)	() 年度に
					(80%)	の水準達成
					()	年度に
					()	の水準達成
					()	年度に
					()	の水準達成
施策の達成状況						
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
施策 成果 指標	目標値1	%	80.00	80.00	80.00	平成18年度の苦情処理件数全140件「満足」及び「一応満足」とした件数74件
	実績1	%	56.00	56.80	52.90	
	目標達成率1 = /	%	70.00	71.00	66.13	
	目標値2					
	実績2					
	目標達成率2 = /					
	目標値3					
	実績3					
	目標達成率3 = /					

所管部	環境土木部
-----	-------

主な取組み

本庁、四谷の2測定局で大気質等の常時測定、区内4交差点での大気汚染測定 神田川及び妙正寺川の水質調査
 酸性雨調査 ダイオキシン類調査 自動車騒音・道路交通振動の測定・評価(1.要請限度に関する測定 2.環境基準に関する測定) 繁華街の騒音対策 工場・事業所等の臭気・燃料調査 アスベスト除去・建設作業の監視 有害化学物質の対策

課題

近年は自動車排出ガスによる大気汚染の解消が重要な課題となっています。また、建築ラッシュ等に伴い、建築作業に係る騒音・振動の苦情が増加しており、対応に追われているほか、アスベスト除去工事の監視の充実を図る必要があります。

評価

総合評価	
<p>本施策は、区内の大気汚染、騒音・振動、悪臭の状況を把握するとともに、公害の発生源に対する規制・指導を充実し、汚染物質の排出低減を図ることを目的としています。本施策における取組みである地道な測定とデータの蓄積が、環境問題への意識啓発のバックボーンとなっているものと評価しています。また、法定測定や都への報告も事業の中には含まれており、引き続き事業を継続していく必要があります。</p>	B

今後の取組み・改革の方針

地道な測定とデータの蓄積及び公表が、区民の環境問題への意識啓発にもつながっています。また、法定測定や東京都への報告等もあり、引き続き事業の継続が必要です。
 今後の予定として、平成20年4月戸山測定局再開があります。戸山測定局の再開に際しては、自動車排排出ガス測定局での測定項目の再検討を行い、事業経費の適正化を図る必要があります。
 また、四谷測定局についても老朽化及び環境負荷低減のため、測定機器の更新を検討すべき時期にあります。

施策を構成する計画事業

	総合評価	頁	総合評価	頁
公害の監視・規制・指導の充実	B	261		